

理科の時間。

おもしろかった

授業は、先生も

笑顔だった。

子どもたちに理科を
上手に教えるには？

中田先生、教えてください。

みなさん、“素朴概念”という言葉を知っていますか？

たとえば

「チューリップは球根を植えるから種はない」

「ボールを上投げたら、ボールにかかる力は上向きだ」

といった、知識や経験の範囲内で構成した概念のことです。

この素朴概念をどう乗り越えていくか。

子どもたちに理科を教えるときに、教師が直面する

課題のひとつです。このとき大切なのは、間違いだと

頭ごなしに否定してしまうのではなく、子どもに共感して

あげることです。まず、なぜそう思ったのか、

子どもなりの論理に耳を傾ける。その上で参加型の

実験を行う。子どもは実際に体験することにより、

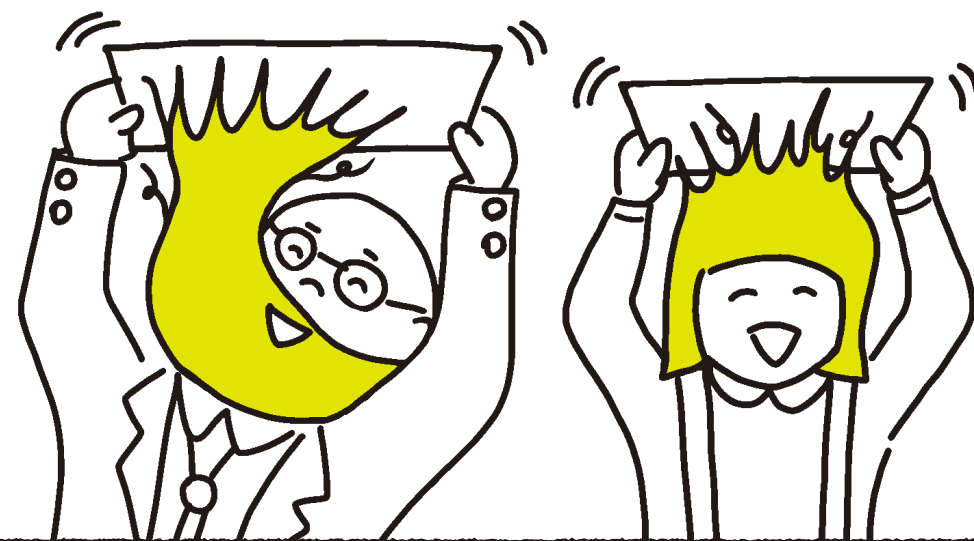
自分の考えを見つめなおし自ら変容させていくようになる

のです。子どもが自分事として参加でき、

教師とともに楽しみながら学べる状況をつくること。

和光ではそんな授業づくりができる教師になるよう

学生に指導しています。



心理教育学科
子ども教育専修
教授 中田 朝夫



和光3分大学

春のオープンキャンパス 3/24(土)・4/28(土)

【予約不要】学生と教員が大学を紹介する、アットホームなオープンキャンパスです。

現代人間学部

表現学部

経済経営学部

小田急線鶴川駅から

徒歩約15分

<http://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる

和光大学